

素敵なお笑顔と温かい拍手が原動力



「マタニティコンサートは、その時その時で違うそれぞれに貴重な出逢いがあり、その中で成長させていただいているのを感じています。」と語る山中さん

「第11回みの〜れマタニティコンサート」司会

山中 真由美さん

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ
No.27

お客様との 素敵なお出逢いに 感動の日々

澄んだ瞳と爽やかな声の山中さんと会った。キラキラと輝いている山中さんには3人のお嬢さんがいる。思い切つて若さの秘訣を聞いてみた。「自分が毎日生き生きと生活していることが若さの秘訣」と話してくれた。子育てにチョットと息ついて2年前からヘルパーの仕事をしている。10月3日 第11回みの〜れマタニティ・コンサートが開かれる。プレママのために山中さんが司会を務める。

山中さんは、小美玉市羽鳥出身で現在は水戸市に住んでいる。

引つ込み思案で人前で話ができるようなタイプではなかったという山中さんは、科学万博つくばEXPO'85で採用されたいばらきパビリオンでのコンパニオンの経験を機に、人前で大きな声で話す司会もこなすなど人との触れ合いに楽しさを覚えたという。

そんな山中さんとみの〜れとの出会いは、みの〜れが生れてまもなくみの〜れで活動する小中学校当時の同級生から、「みの〜れで司会をやってみない？」と声を掛けられたのがきっかけだった。仕事と家事に追われる忙しい合間を縫って、みの〜れで行われているマタニティ・コンサートのほかみのり太鼓のイベントの司会などを務めたこともあった。

本番が始まるまで一人で楽屋にしていると緊張が高まり不安でいっぱいになるが、お客様の前で最初のセリフが出ると心も落ち着くという。演奏の合間のインタビュウではアドリブでの受け答えが難しく、テレビの司会者の大変さがよく分かるようになったという。

今回、山中さんが司会を務めるマタニティ・コンサートは、心を癒すクラシックの演奏にストレス解消のリラックスタイプと、映像と音楽で楽しむ絵本の読み聞かせを組み合わせたユニークなみの〜れのオリジナルコンサート。「マタニティは何度も経験出来る事ではないので、一回一回を大切にマタニティの皆さんへ伝えたい事や言い回しなどを考えながら司会をしています」と山中さん。毎回このコンサートでは、お客様の笑顔や拍手で沢山の元気や勇気をもたらしている。そして、新しい命を生み出すということの素晴らしさに改めて気づくことが出来る、女性として、母親としての成長なのかなって思いますと、山中さんは感慨深げだ。

現在、山中さんは子どもたちに手がからなくなつた2年前からヘルパーの仕事をしている。自分に合っている仕事で、毎日仕事に行くのが楽しくてしょうがないらしく「また、明日も来てね・・・と言ってくれる利用者の言葉に、休みの日にも待っていてくれるんだらうな・・・と気になつてしまうの」と笑顔で話す。

そんな山中さんも大きなステージを幾つかこなしたあとに、一時人前に出るのが嫌になり、みの〜れからも遠のいた時期もあったという。仕事と家事の両立の中で、家族の支えのもと充電した山中さんがこの秋みの〜れのステージに立つ。

プレママの皆さん、どうぞ素敵なおコンサートに足を運んでください。「本日はようこそマタニティ・コンサートにおいでくださいました」と最高の笑顔と爽やかな声で山中さんが迎えてくれますよ。

(藤田佐知子)